

〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	2節8項	防災
担当課・係名	安心安全課 防災係【問合せ・質問等の先（内線番号）			164番】

<b>業務の名称</b>	総合防災訓練事業						
(1) 根拠法令・条例	災害対策基本法、大規模地震対策特別措置法、長久手町地域防災計画						
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>30</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>184</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・日)						
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>581</u> 千円 (平成19年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))						
(4) 補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0</u> % (平成19年度実績)						
(5) 業務期間	開始した年度	年度	終了(予定)年度	年度			
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)							
①業務目的(達成目標)	大規模地震災害時における相互協力体制の確立を図ること。 地域住民の防災意識の高揚を図ること。						
②業務が対象とする住民(地域、層)	行政職員、関係機関などを含む住民全体						
③業務の具体的な実施内容・方法(平成19年度実績)	東海地震を想定し総合的かつ実践的な防災訓練を実施。 警戒宣言に伴い、住民に避難勧告をするとともに避難所へ避難誘導。 地震発生後、各防災機関及び地域住民の協力のもと、初期消火、炊き出し、応急救護、応急復旧等を行った。						
④業務の実施結果(平成19年度実績)	防災関係機関による実践的な訓練の実施						
	【業務結果の説明指標】						
	結果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
1	住民参加者数	270	390	732	800		
2	防災関係機関参加者数	256	258	246	250		
3	訓練項目数	30	32	34	35		
4							
5							
⑤業務の成果(業務目的の達成状況)(平成19年度実績)	多くの住民の参加があり、防災意識が高揚したため、自治会単位での防災講習会の回数が増えた。						
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】						
	成果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
1	防災講習会実施回数	17	27	43	45		
2							
3							
4							
5							

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
自主防災組織の確立 防災リーダーの育成

(8) 改善実績（過去3年間の実績）
一時避難場所2か所から避難誘導訓練を行った。

(9) 業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	4点
		平均 3.3点

(10) 総合評価（課の見解）	
①今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） ④ 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	引き続き、町、防災関係機関、住民が一体となった実践的な訓練を模索し、もっと住民が参加しやすい方法を考える。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
自主防災組織の確立や防災リーダーの育成が必要。